

次の文章を読み、各問いに答えなさい。ただし、漢字で書くべきものは漢字で答えること。

【A】 日本の総人口は、2004年の1億2779万人を最高に、戦後初めて減少しました。今後も減少していくとみられ、2046年には1億人を割り、2055年には8993万人にまで減少するとの予測もあります。今後私たちは、人口減少社会を生きていくことになるのです。

人口は自然条件や社会条件によって増減しますが、それに対して人々は、人口を調整する政策をうちだしたり、増減した人口を受け入れられるように社会自体をつくりかえる政策をとることで、対処してきま^{たいし}しました。日本も何度か人口減少期を経験しています。例えば、①縄文時代後期、9～11世紀の②平安時代、18世紀後半の③江戸時代などの時期に人口が減少あるいは停滞^{ていたい}していたといわれています。しかし、そのつど人口は回復しました。それは、④それぞれの時代に、人口減少に対応できる社会や経済の構造をつくりかえる知恵や政策を生み出してきたからなのでしょう。その結果、長い目で見たときに日本の人口は増加してきたのです。

21世紀の日本の人口減少社会で問題とされているのは、次のような点です。“労働力が減って⑤国内総生産が低下してしまう。”“年金保険料の負担者が減って⑥年金制度が崩壊^{ほうかい}してしまう。”“⑦少子・高齢化の進行により、国の税収が減少してしまう。”

これらの問題をどう考えたらよいのでしょうか。“労働力が減って国内総生産が低下する”という問題に関しては、人口が減少しても労働力が減らないようにするという視点と、労働力が減っても国内総生産を維持できるようにするという視点が必要です。前者については、⑧日本国憲法で国が国民に「(⑨)の義務」(27条)を定める一方で、国民の「(⑩)で(⑪)な」最低限度の生活を保障するために⑫社会福祉や社会保障の向上と増進に努めるとうたっており(25条)、それにもとづいて、⑬法律を整備し、労働条件を向上させていく必要があります。後者の視点からは、⑭少ない人材(労働力)を最大限に活用して、従来と同程度の生産力を維持することが必要です。新たな技術の開発などにより生産性を大幅にあげる努力が求められます。また、魅力的な商品やサービスを創造して、高価でもたくさん売れるよう努力することも必要でしょう。先端技術の応用によって魅力的な商品が開発されるならば、国内のみならず海外にも市場を広げることにつながります。⑮輸出品も、いつまでもICや電気機械や(⑯)ばかりに頼^{たの}ってられません。

日本の人口減少は国内の問題だけではなく、貿易や国際政治の問題とも密接に結びついているのです。

【B】 日本だけでなく、先進国のなかには少子高齢化の進行している国が少なからずあり、その一部ではすでに経済成長率が低下し労働力不足等の問題をかかえています。一方、途上国では人口増加の勢いが下がっていません。途上国では、貧しさゆえに死亡率も高く、これを補うために人口増加率も高いという現実があります。現在

(⑰) 人の地球人口は、今後も増加していくとみられ、2035年には85億人になるとの予想もなされています。地球規模では、少子高齢化・人口減少の問題と人口増加の問題という相互に関連した2つの問題を同時ににかかえているのです。人口増の途上国が人口減の先進国に資源や食料や労働力を輸出しており、このことが原因となつて、⑱地球規模の環境破壊をもたらすのではないかと、あるいは途上国からの大量の労働者を先進国がきちんと社会的に保障していないのではないかとといった問題が指摘されているからです。このようにみると、地球規模の人口問題は、単に数の増減の問題ではなく、⑲人口移動や人口分布、人口構成、人権、資源・食料などの様々な問題であるといえます。だからこそ解決のためには、国際協力が必要なのです。

【C】 普通、私たちがだれかを援助する際には、相手が家族の一員だからとか、友人だからとか、同じ町内に住んでいる人だからとか、つまりは仲間だから手助けしようとし^します。「困ったときはお互いさま」という言葉があるように、助け合える連帯関係を維持したり深めようとする考えからこうしたことが行なわれるのでしょう。

しかし、相手が仲間だからではなく、仲間でないがゆえになされる「歓待^{かんたい}」という慣習が、世界のいたるところで見られます。見知らぬ旅人、外国人などが訪ねてきたとき、彼らの身分や名前を問う前に、まずは客人として食卓に招き食事や飲み物をふるまったりわが家に宿泊させたりするほか、彼らが去るときには護衛^{ごゑい}をつけたりします。つまり、彼らを、身分や国籍、民族に関係なく、「人間として」手厚くもてなす(歓待する)のです。

この歓待というふるまいは、世界中の神話や伝承^{でんしょう}のなかにも見られ、旅人などの異人が神や祖先の変わり身であるかもしれないという思いから、異人を歓待したことが記されています。日本でも、⑳『風土記』などにみられる神の物語は、旅人の身なりで訪れた神を歓待した者たちの子孫が栄え、そうしなかった者たちの子孫が苦しむという筋立てになっています。また、㉑足利尊氏や新田義貞など有力な御家人を味方にして鎌倉幕府を滅ぼした(㉒)天皇は、流通業者やさすらう芸人・宗教者などを組織したといわれていますが、これは、彼らが富や福をもたらす力を備えた、歓待されるべき人々ととらえられたとも考えられます。よく知られた「つるのおんがえし」などの昔話も一夜の宿を求めた者が歓待を受ける物語です。現代でも、㉓四国では「お遍路さん」に対して無償^{むぎやう}の援助が行なわれており、八丈島などでは島民によって異郷の人々に対して歓待が行なわれています。

こうして歓待という慣習をふりかえってみると、歓待のもつ豊かな意味あいに気づかざるをえません。何者かわからない者の訪れを無条件に受け入れ喜ぶ。身分や国籍、民族の違う相手を、その違いを無視して、一人の人間としてそのまま受け入れて友好的人間関係を結ぶ。来訪者への歓待を重ねることによって、豊かな人間関係で結ばれた新たな社会(共同体)が生じる可能性を期待できるのではないのでしょうか。

とはいえ今日、何者かわからない者を無条件に受け入れることは、容易に認められ

ません。私たちは社会を営むうえで、境界を定め、その者が何者であるかを問いただし、得体の知れない者・見知らぬ者を排除することを前提としているからです。現実には、まったく無条件の移住を認めているような国家は世界のどこにも存在しません。現代の国家では、条件つきで一定数の移民を受け入れたり、特別な技能をもった者や十分に経済力をもった者だけに移民の許可を与えたり、迫害される危険性を証明できる者だけに移民を制限したりしています。

国家にとって、条件のない純粋な歓待は理想的だが現実的には不可能であるかもしれませんが、この純粋な歓待に関心を向けることは決して無意味なことではないと思います。現在、途上国等から先進国に労働者など移民が増え続けており、様々な問題がもたらがっています。また、日本においても今後の労働者不足の対策として外国人の積極的な受け入れが、様々な観点から検討されています。こうした問題に取り組まなければならない現在の私たちが、純粋な歓待のあり方に関心をもち、移民に対する制限や差別を少しでも改善させていくことにつながると期待します。

問1. 下線部①について、この時代の説明としてふさわしくない文を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 竪穴式住居がたてられ、いくつかの住居が集まって集落が形成されていた。
- イ. 海産物が採集され、魚類・貝類・海そうなども食料となっていた。
- ウ. 銅剣、銅ほこが、宝物として用いられた。
- エ. 食料などは公平に分けられるなど、貧富や身分の区別はなかった。

問2. 下線部②について、この時代の説明としてふさわしくない文を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 原則として摂政・関白が常に置かれ、そのもとで国政が運営された。藤原氏は、道長と頼通のとき、摂関家として全盛期をむかえた。
- イ. 国風文化といわれる新しい日本風の文化が貴族を中心におこった。紀貫之の『土佐日記』は、この時代に発達した国文学の代表作の一つである。
- ウ. 世の中が乱れて人々の生活が不安定になると、阿弥陀仏を信仰することによって死後に極楽浄土に行けるといふ浄土教がおこってきた。
- エ. 鉄製農具の使用や牛馬による耕作、肥料の使用により、農業生産が高まった。また、稲と麦の二毛作が全国的に広まり、さかんになっていた。

問3. 下線部③について、この時代の出来事(1)～(4)を年代順に正しくならべてあるものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- (1) 白河上皇が院政を始めた。 (2) 坂上田村麻呂が東北地方を平定した。
- (3) 遣唐使が廃止された。 (4) 平将門が関東地方で反乱をおこした。
- ア. (2)→(4)→(3)→(1) イ. (4)→(2)→(1)→(3)
- ウ. (2)→(3)→(4)→(1) エ. (4)→(3)→(1)→(2)

問4. 下線部③について、この時代に関する以下の文章の空欄(1)～(5)に最も適する語句をそれぞれ漢字で答えなさい。なお、人名は姓名を答えること。

「江戸時代には何度か大ききんがおこりました。将軍(1)のときに西日本一帯に広まった享保の大ききんや、浅間山噴火や冷害などにより全国的におこった天明の大ききんがありました。天明の大ききんの後、老中(2)は、ききんにそなえて(3)の制を定めて、各地に穀物倉庫を建て、穀物を貯蔵させるなど、幕政の改革を行ないました。

人口が停滞していた18世紀後半から19世紀半ばの100年間は、学問や文芸、歌舞伎、浮世絵などの文化が栄えた時代でもあります。この時代はちょうど、老中として株仲間の公認などを行なった(4)が幕政の実権をにぎったころから、将軍徳川家斉のもとで江戸を中心とした(5)文化とよばれる町人の文化が生まれたころまでの時期にあたります。」

問5. 下線部③について、この時代の出来事(1)～(4)を年代順に正しくならべてあるものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- (1) 幕府は、中国船・オランダ船以外の外国船が来航した際には、これを追い払うよう命令した。
- (2) ロシアの使節ラクスマンが、通商を求める国書をたずさえて、根室に来航した。
- (3) 日本の漂流民を乗せて来航したアメリカ船モリソン号が幕府に撃退された。
- (4) イギリス戦艦フェートン号が、長崎に来航していたオランダ船を攻撃した。
- ア. (1)→(3)→(4)→(2) イ. (2)→(1)→(3)→(4)
- ウ. (1)→(4)→(3)→(2) エ. (2)→(4)→(1)→(3)

問6. 下線部④について、朝廷や幕府が政策をうちだす際に、人口を知るために戸籍を利用することがありました。

- (1) 天智天皇は日本で最初の戸籍をつくり改新の政治を行ないました。その戸籍にもとづいて人々に一定の口分田を与えた土地制度を何といいますか。
- (2) 江戸時代には人々がどの仏教宗派に属しているかを調査して宗門人別改帳がつくられ、それは戸籍の役割を果たしました。幕府は何の目的でこの調査をおこなったのかを説明しなさい。

問7. 下線部④について、現在、行政機関では国民の氏名、住所、生年月日など住民票の個人情報をもとめて管理するシステムを導入しています。このシステムを何というか答えなさい。(略称でもよい)

問8. 下線部⑤について、これは略して何と表されますか。次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

- ア. GDP イ. WTO ウ. PLO エ. NPO

問 9. 下線部⑤について、次の表は、日本の国内総生産における主な産業の生産額の割合をパーセントで表したものです。空欄（1）～（3）にあてはまる産業名の組み合わせとして正しいものを以下のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

産業名	1965 年	1985 年	2004 年
卸売・小売業	12.7	13.2	13.5
(1)	33.7	28.2	21.0
不動産業	8.6	10.0	12.1
(2)	9.8	3.2	1.7
運輸・通信業	7.5	6.7	7.0
(3)	7.8	16.6	21.3
電気 ガス 水道業	2.7	3.2	2.6

（『数字でみる日本の100年』より作成）

- ア. (1) 鉱業 (2) 建設業 (3) 農林水産業
 イ. (1) サービス業 (2) 製造業 (3) 金融・保険業
 ウ. (1) 農林水産業 (2) 金融・保険業 (3) 鉱業
 エ. (1) 金融・保険業 (2) 農林水産業 (3) 建設業
 オ. (1) 製造業 (2) 農林水産業 (3) サービス業

問 10. 下線部⑥について、年金制度の整備を行なう省名を漢字で答えなさい。

問 11. 下線部⑦について、この問題を解決するために国の財政負担を減らすことが議論されています。国の財政負担のうち、収入の少ない地方公共団体に自由に使ってもらうために国から与えられるものを何とといいますか。漢字8字で答えなさい。

問 12. 下線部⑧について、次の年表は日本国憲法成立までの過程を表したものです。

西暦	月日	出来事
1945	8. 14	日本に降伏を求めた（1）を政府が受け入れる
1945	10. 11	GHQ は政府に対して（2）旧憲法の改正を示唆する
1945	10. 25	政府が憲法問題調査委員会を設置
1946	2. 8	政府は憲法問題調査委員会が作成した旧憲法改正案をGHQ に提出
1946	2. 13	GHQ は憲法問題調査委員会の改正案を拒否
1946	3. 6	政府は GHQ 案をもとに憲法改正草案要綱を発表
1946	4. 10	（3）新選挙法による（4）総選挙
1946	4. 17	政府が憲法改正草案を発表
1946	6. 20	第 90 回（5）が開かれ、憲法改正案が提出される
1946	11. 3	日本国憲法公布
1947	5. 3	日本国憲法施行

（1）空欄（1）に適する語句を答えなさい。

（2）下線部(2)について、この憲法が公布された年を西暦で答えなさい。

（3）下線部(3)について、この選挙法によって選挙権の資格はどのように変わりましたか。直前の選挙権資格と新たな選挙権資格を明示して答えなさい。

（4）空欄（4）に適する語句を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア. 枢密院 イ. 参議院 ウ. 衆議院 エ. 貴族院

（5）空欄（5）に、立法権を行使した機関のその時の名称を漢字で答えなさい。

問 13. 文中の空欄（⑨）に適する語句を漢字2字で答えなさい。

問 14. 文中の空欄（⑩）・（⑪）に適する語句をそれぞれ漢字で答えなさい。

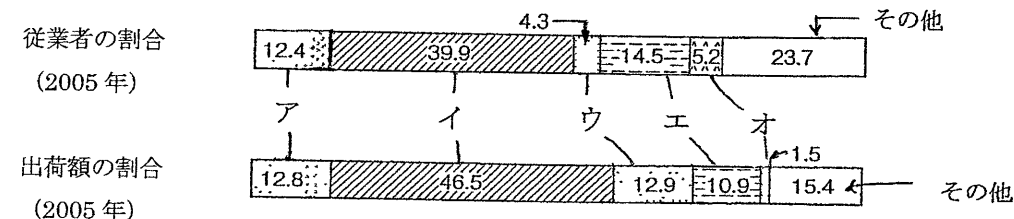
問 15. 下線部⑫について、社会保障の政策として、暮らしに困っている人々に国が生活や教育の費用などを援助することを何とといいますか。漢字4字で答えなさい。

問 16. 下線部⑬に関連して、法の整備に関する次の文章の空欄（1）～（4）に適する語句をそれぞれ漢字で答えなさい。

「日本において法律は、憲法 59 条の定めにより、国会の両議院で可決されることによって成立しますが、（1）の優越が認められる場合など憲法で特別に定められた場合においてはこの限りではありません。憲法 95 条の定めにより、地方特別法の場合には、（2）による住民の同意が必要になります。成立した法律は、（3）によって国民に公布されます。また、憲法 81 条では、裁判所に、法律が憲法に適合するかどうかを決定する権限すなわち（4）権が与えられています。」

問 17. 下線部⑭について、働く権利を男女平等に保障するという目的で、定年や退職などにおける男女差別を禁止した法律を何とといいますか。漢字で答えなさい。

問 18. 下線部⑮について、次のグラフは、日本のせんい工業、機械工業、食料品工業、金属工業、化学工業における産業別従業員の割合と産業別出荷額の割合を示したものです。以下のア～オから化学工業を示すものを一つ選び、記号で答えなさい。



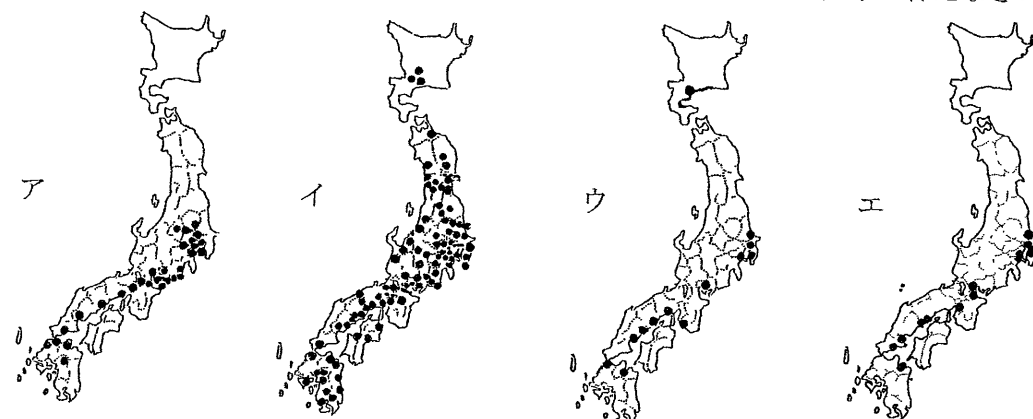
数字はパーセント

（『2008/2009 日本国勢図会』より作成）

問 19. 下線部⑯について、石油精製工業や鉄鋼業などで、企業相互の生産性の向上のために、原料・燃料・工場施設を計画的に有効に結びつけた工業地域あるいは工場の集合体を何とといいますか。答えなさい。

問 20. 下線部⑰に関連して、コンピュータやインターネットなどの発展によって生じる社会の大きな変化を何とといいますか。4 文字あるいは漢字 6 字で答えなさい。

問 21. 下線部⑮について、以下のア～エの図は、工場の所在地を黒丸で示したものです。I C工場の分布を示した図を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。



(『2008/2009 日本国勢図会』より作成)

問 22. 下線部⑮について、日本の貿易に関する以下の4つの表から、A～D国の国名の正しい組み合わせを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

A国との貿易 (2007年)				B国との貿易 (2007年)			
A国への輸出		A国からの輸入		B国への輸出		B国からの輸入	
機械類	36.6%	機械類	31.9%	自動車	39.3%	原油	85.0%
自動車	31.4%	航空機類	7.1%	機械類	35.6%	液化石油ガス	8.2%
自動車部品	5.9%	精密機械	5.7%	鉄鋼	10.2%	石油製品	5.0%
その他		その他		その他		その他	
輸出金額 16,896,235 (百万円)		輸入金額 8,348,695 (百万円)		輸出金額 790,547 (百万円)		輸入金額 4,147,485 (百万円)	

C国との貿易 (2007年)				D国との貿易 (2007年)			
C国への輸出		C国からの輸入		D国への輸出		D国からの輸入	
機械類	53.2%	機械類	50.9%	機械類	46.0%	機械類	37.0%
鉄鋼	5.2%	果実	7.6%	鉄鋼	6.0%	衣類	15.3%
精密機械	4.4%	鉄鉱石	5.2%	有機化合物	6.0%	がん具	3.8%
その他		その他		その他		その他	
輸出金額 1,113,871 (百万円)		輸入金額 1,026,233 (百万円)		輸出金額 12,838,998 (百万円)		輸入金額 15,035,468 (百万円)	

(『2008/2009 日本国勢図会』より作成)

- ア. A: 中国 B: フィリピン C: サウジアラビア D: アメリカ
 イ. A: 中国 B: サウジアラビア C: フィリピン D: アメリカ
 ウ. A: アメリカ B: サウジアラビア C: フィリピン D: 中国
 エ. A: アメリカ B: サウジアラビア C: 中国 D: フィリピン

問 23. 文中の空欄(⑯)に適する語句を次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

- ア. 鉄鋼 イ. 自動車 ウ. 精密機械 エ. 船舶

問 24. 文中の空欄(⑰)に適する数を次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

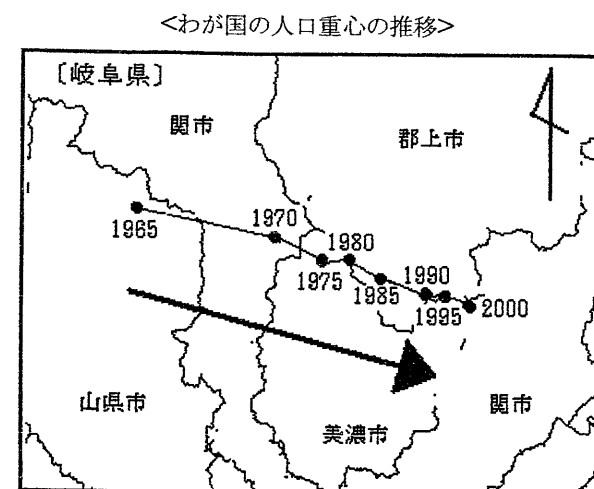
- ア. 約50億 イ. 約55億 ウ. 約60億 エ. 約65億

問 25. 下線部⑱について、公害の原点とされる足尾鉍毒事件で、その下流域で鉍毒による農産物や水産物の被害をもたらした川の名称を漢字で答えなさい。

問 26. 下線部⑱について、環境破壊を未然に防ぐため、大規模な公共事業などによる環境への影響を事前に調査・予測することを何といいますか。答えなさい。

問 27. 下線部⑱について、国や地方公共団体ではなく、地域の住民たちが資金を出し合って、土地を買い取り、自然環境や歴史的遺産を保護していく運動を何といいますか。答えなさい。

問 28. 下線部⑲について、人口分布の状況を分かりやすく示すものに、「人口重心」があります。人口重心とは、その地域に分布している人々の一人ひとりが同じ重さを持つと仮定して、その地域を支えることができる点をいいます。よって日本の人口重心は、日本の人口の中心点つまり「日本のヘソ」となるのです。5年ごとの国勢調査結果により、日本の人口重心の移り変わりを表したものが以下の図です。



数字は西暦年 市境は2004年3月現在(統計局ホームページのデータより作成)

図において、人口重心は1965年から2000年の間に一貫して図中の「→」の方向へ大きく移動しています。その理由について、特に1965年から1970年の5年間に注目して、答えなさい。

問 29. 下線部㉑について、2006 年末現在、日本の外国人登録者のうちで最も多い人数を占めている国・地域を次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア. ブラジル イ. フィリピン ウ. アメリカ エ. 中国 オ. 韓国・朝鮮

問 30. 下線部㉒について、これは元明天皇のときに諸国に対して記録するよう命じられたものです。元明天皇のときに行なわれた政策を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア. 国ごとに国分寺・国分尼寺を建てさせることにした。

イ. 唐の律令を手本とした大宝律令を完成させた。

ウ. 藤原京から平城京に都をうつした。

エ. 小野妹子らを遣隋使として中国に派遣した。

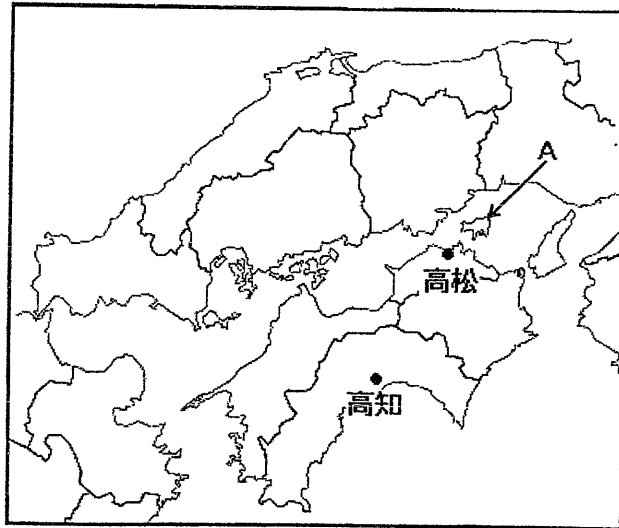
問 31. 下線部㉓について、鎌倉幕府が滅ぼされる背景には、元寇の際の戦費などで負担が増した御家人の、幕府に対する不満がありました。そこで幕府は 1297 年に御家人の生活苦を救うために、御家人が売った土地をただで取りもどせる命令を出しました。この命令を何といいますか。漢字 3 字で答えなさい。

問 32. 下線部㉔について、鎌倉幕府滅亡後、(㉔) 天皇は、公家と武士を統一して天皇中心の政治を始めました。この政治は何とよばれますか。5 文字で答えなさい。

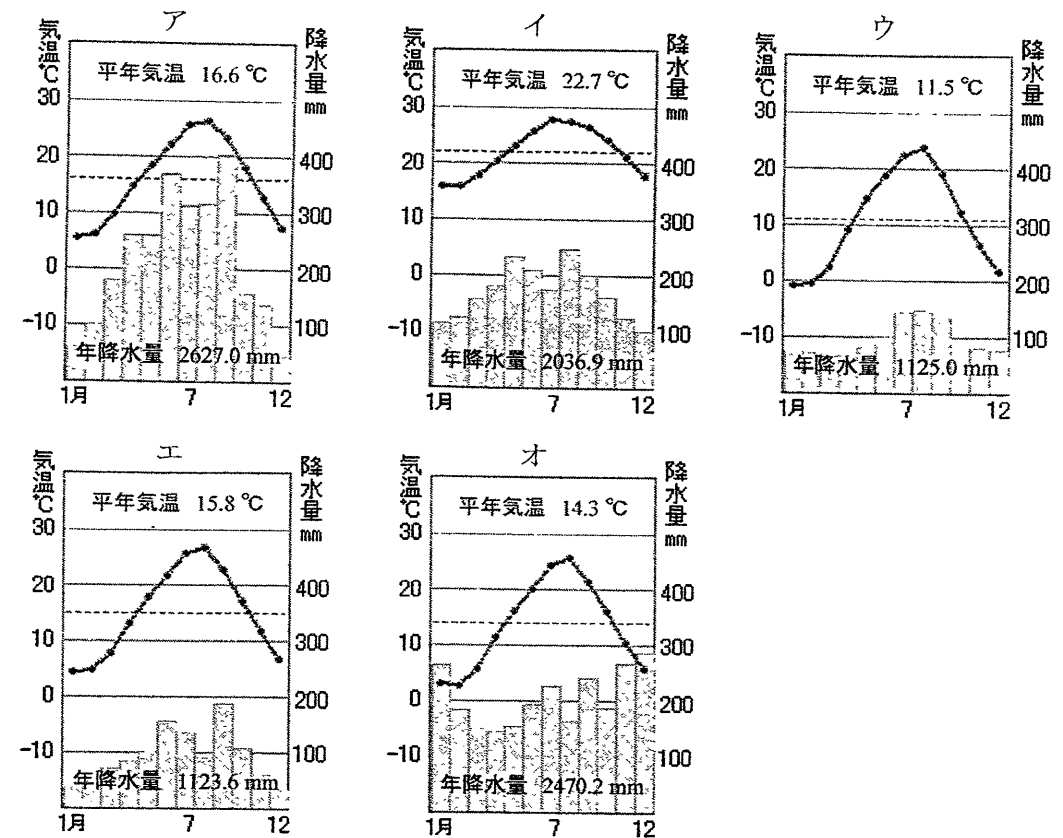
問 33. 下線部㉕について、足利尊氏が 1338 年、北朝から任命された役職名を漢字で答えなさい。

問 34. 文中の空欄 (㉖) に適する語句を漢字で答えなさい。

問 35. 下線部㉗について、以下の地図をみて、次の問いに答えなさい。



(1) 次の雨温図のア～オのうち、高松、高知のものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。



(『2008/2009 日本国勢図会』等より作成)

(2) 左の地図において A の島の名称を漢字で答えなさい。

(3) A の島を含む香川県で日本の約 95% を占める生産高をあげている果樹を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア. さくらんぼ イ. オリーブ ウ. いよかん エ. パインアップル

(4) 次の文章の空欄 (ア) と (イ) に適する語句をそれぞれ漢字で答えなさい。ただし、(イ) は季節名を漢字 1 字で答えること。

「高知平野では、近年、野菜の (ア) 栽培がさかんに行なわれています。ピーマンやナスなどの (イ) 野菜が栽培され、カーフェリーを使って、阪神や京浜の大消費地へ出荷されています。」

問 36. 問題文の【C】の文章について、日本の人口問題を考えるとき、歓待の考え方はどのように役に立つと思いますか。説明しなさい。

以 上.

問1		問2		問3	
問4	(1)		(2)		(3)
	(4)		(5)	文化	
問5					
問6	(1)				
	(2)				
問7			問8		問9
問10		省	問11		
問12	(1)		(2)	年	
	(3)				
	(4)		(5)		
問13		問14	⑩	⑪	問15
問16	(1)		(2)		(3)
	(4)		権		
問17			問18		問19
問20			問21		問22
問24		問25	川	問26	
問27					
問28					
問29		問30	問31		問32
問33			問34	天皇	
問35	(1)	高松	高知	(2)	(3)
	(4)	(ア)		(イ)	
問36					

受験番号		氏名	
------	--	----	--

